

事業番号	05 05 02	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	人生二毛作社会推進事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	健康増進課	
総合5か年計画	プロジェクト	5-3-2 雇用・社会参加促進プロジェクト			E-mail	<a href="mailto:kenko-zoshin@pref.nagano.lg.jp">kenko-zoshin@pref.nagano.lg.jp</a>	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり					
		2 高齢者の活躍の促進					
				実施期間	H26 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	1-2 人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造 4-5 信州創生を担う人材の確保育成					
	施策展開	3-(2)経済の自立的発展を支える担い手の確保 ア 県内経済を支える労働力の確保 (イ) 高齢者・障がい者の就労等の支援					

## 1 事業の概要

目指す姿	高齢者の就業率が高く、働くことや地域活動を望む高齢者が多いことから、効果的なマッチングシステムを構築することなどにより、シニア層が培ってきた知識と経験を社会活動や仕事で活かし、元気に活躍できる人生二毛作社会の確立を目指す。 成果目標：生きがいを持って生活している高齢者の割合 84.9%(H25)→増加(H29) 〔長野県「高齢者生活・介護に関する実態調査」〕											
現状 (予算編成時)	・人口減少下で地域の活力を維持していくには、高齢者が経験や知識を活かして、就業や社会活動等を行うことにより、地域を支える担い手として活躍できる社会づくりが求められている。 ・高齢者の社会参加については、人生二毛作推進県民会議において、シニア世代と活動の場をつなぐコーディネーター等の必要性が論議され、平成26年度から県内3地域(長野・上小・諏訪)に配置された「シニア活動推進コーディネーター」が活動を行っているが、配置圏域と未配置圏域における関係機関の連携体制の格差など、地域における取組に差異が生じている。 ・関係機関の一層の連携強化及び機能強化を図り、全県における仕組みづくりを進めるとともに、就業や移住者支援など「地方創生」に資する新たな分野でのシニアの参加を促進する必要がある。											
県が関与する理由	県関与の必要性あり			【左記の説明、根拠法令等】								
	県民との協働による実施： 実施中			・人生二毛作社会推進事業補助金交付要綱 ・広域に連携体制を構築し、事業を実施していくためには、県の関与が必要である。								
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) ・ネットワーク会議の開催：26回(コーディネーター既設置3圏域×4回+新規設置7圏域×2回) (設定理由：県内全圏域における関係機関の連携体制の構築やコーディネート力強化を推進するため、関係機関によるネットワーク会議の定期開催を設定)											
	② 事業内容 (単位：千円)											
	項目		実施方法	H28事業実績		H28		H29				
						(当初)	(決算)	(当初)				
	シニア活動推進コーディネーターの配置		補助金	・シニア活動推進コーディネーターの配置、人生二毛作社会の仕組み構築(関係機関・地域団体との連携強化、圏域内ネットワーク会議、タウンミーティングの開催)。〔県長寿社会開発センターへの補助〕		0	25,131	25,636				
	人生二毛作推進県民会議の開催		直接	・関係課室との庁内連絡会議の開催(H28.5) ・高齢者関係団体、市町村等、シニア大学生等の参加による県民会議事例発表会の開催(H29.2)		0	338	780				
			合計		0	25,469	26,416					
事業コスト	区分(単位：千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越	15,438	30,617	0	項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	0	0	26,416				目標	成果	達成状況	
		補正予算	30,617	0								
		合計(A)	46,055	30,617	26,416							
	Aの財源	一般財源			26,416							
		県債										
		国庫支出金	46,055	30,617								
		その他	0	0	0							
	決算額(B)		13,859	25,469								
	概算人件費	職員数(人)	0.80	0.80	0.80							
		概算人件費(C)	6,621	6,331	6,331							
概算事業費(B(A)+C)		20,480	31,800	32,747								

<p>目標に対する成果の状況</p>	<p>圏域ごとのネットワーク会議は、県内10圏域全てで1回以上、計15回実施された。同会議により、社協、シルバー人材センター、市町村など関係機関の連携強化が図られ、その結果、シニアの社会参加に係る意識を醸成し、活躍したいシニアとシニアを求める関係団体等とが直接出会う場の提供を目的としたタウンミーティングが県内全10圏域で計12回開催され、延べ1,600名が参加した。</p> <p>シニア活動推進コーディネーターは、以下の事例のとおり、シニアの活躍の場を広げる取組みを県内各地で展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルツーリズムへのシニアの参加支援 ⇒障がい者や高齢者を介助サポートする、地域トラベルサポーターに21名のシニアが登録</li> <li>・信州こどもカフェへのシニアの参加支援 ⇒食事提供、学習支援の担い手としてシニアが参加(学習支援参加シニア延べ約80人、食事提供シニア延べ約60人) 信州こどもカフェ「かふえじゅく」(飯田市)H28.8～H29.3まで延べ40回開催(参加したこども延べ660人)</li> <li>・シニアによるスーパーでの「まちの縁側」づくり ⇒シニア大生やそのOB約20名が運営主体となり、月1回定期開催</li> </ul>
--------------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	シニア活動推進コーディネーターが、県・市町村・地域とシニアを結び付け、これまで取り組まれてきたシニアの就労、移住、子どもなどの取組を普及・発展させ、「地方創生」に資する各分野の取組を加速する。